

# 卒業実習モデル・コアカリキュラム

## 目 次

### 卒業実習モデル・コアカリキュラム

E 1	総合薬学研究	1
(1)	研究活動に求められる態度	1
(2)	研究活動を学ぶ	1
(3)	未知との遭遇	1
E 2	総合薬学演習	2

## E 卒業実習教育

### 【問題解決能力の醸成】

#### E 1 総合薬学研究

一般目標：薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究課唐を通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問監点を解決する能力を修得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う。

##### (1) 研究活動に求められる態度

一般目標：将来、研究活動に参画できるようになるために、必要な基本的理念および態度を修得する。

- 到達目標：1. 課題を理解し、その達成に向けて積極的に取り組む。(態度)  
2. 開腹点を自ら進んで解決しようと努力する。(態度)  
3. 課題の達成を目指して論理的思考を行い、生涯にわたって醸成する。(態度)  
4. 課題達成のために、他者の意見を理解し、討論する能力を醸成する。(態度)  
5. 研究活動に関わる諸規則を遵守し、倫理に配慮して研究に取り組む。(態度)  
6. 環境に配慮して、研究に取り組む。(態度)  
7. チームの一員としてのルールやマナーを守る。(態度)

##### (2) 研究活動を学ぶ

一般目標：将来、研究を自ら実施できるようになるために、研究課題の達成までの研究プロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

- 到達目標：1. 課題に関連するこれまでの研究成果を調査し、評価できる。(知識・技能)  
2. 課題に関連するこれまでの発表論文を読解できる。  
3. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出できる。(技能)  
4. 実験計画を立案できる。(知識・技能)  
5. 実験系を組み、実験を実施できる。(技能)  
6. 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理する。(技能・態度)  
7. 研究活動中に生じたトラブルを指導者に報告する。(態度)  
8. 研究の各プロセスを正確に記録する。(技能・態度)  
9. 研究の結果をまとめることができる。(技能)  
10. 研究の結果を考察し、評価できる。(技能)  
11. 研究の成果を発表し、適切に質疑応答ができる。(技能、態度)  
12. 研究の成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)  
13. 自らの研究成果に基づいて、次の研究課題を提案する。(知識・技能)

##### (3) 未知との遭遇

一般目標：研究活動を通して、創造の喜びと新しいことを発見する研究の醍醐味を知り、感動する。

- 到達目標：1. 研究課題を通して、現象を的確に捉える観察眼を養う。蜘蛛・技能・態度)  
2. 新規な課題に常にチャレンジする研究者としての創造的精神を醸成する。(態度)  
3. 科学の発展におけるセレンディピティについて説明できる。(知識・態度)

## E 2 総合薬学演習

一般目標：新しい医薬品が社会のニーズに応え、医療の発展にいかに関与してきたかを理解するために、代表的な疾患あるいは画期的な現代医薬品を取り上げて調査し、考察する。その過程を通して医薬品を多面的に評価する能力を身につける。

到達目標：以下に例示した医薬品から選択し、探索、合成、構造活性相関、薬理作用、臨床応用、体内動態、副作用、相互作用などについて調査し、発表する。

1. 心臓・血管系疾患治療薬（ジルチアゼム、カプトプリル、ロサルタン、プロプラノロールなど）
2. 消化器系疾患治療薬（シメチジン、オメプラゾールなど）
3. 神経疾患治療薬（ジアゼパム、レボドパ、ドネペジルなど）
4. 代謝疾患治療薬（インスリン、プラバスタチンなど）
5. 抗炎症薬（アスピリン、インドメタシンなど）
6. 免疫抑制薬（タクロリムスなど）
7. 抗悪性腫瘍薬（シスプラチン、ドセタキセルなど）
8. 抗菌薬（レボフロキサシンなど）
9. 抗ウイルス薬（ジドブジン、インターフェロンなど）